



かけはし



文責：小倉



くまもと家庭教育10か条

～我が家家の1か条コンテスト～

熊本県では、家庭が教育の原点であり、すべての教育の出発点であることを踏まえ、家庭教育の重要性の啓発と充実を進めています。「くまもと家庭教育10か条」が制定されたのもその一環です。「くまもと家庭教育10か条」では、家庭で大切にしたい9つの条文と、「我が家家の1か条」から構成されています。

今回、不知火小学校PTAでは、「我が家家の1か条コンテスト」に参加され、各家庭に呼びかけをされました。143件の御家庭が参加され、とても素敵なおか条がたくさん集まりましたので、少し紹介させてください。

「毎日の夕飯の主役 家族の会話」
 「家族にね 相談しよう なやみごと」
 「いつまでも ぼかぼかことばは わすれずに」
 「えがおとあいさつで ともだちづくり」
 「あいさつと おれいは じぶんから」
 「あいさつは いつでも さきに つたえよう」
 「へいじつの 朝はかならず おみそしる」



くまもと家庭教育10か条

第1条 家族の信頼感

「伝えよう 愛しているよの メッセージ」

第2条 あいさつの習慣化

「朝晩 元気にあいさつ 習慣に」

第3条 善惡の区別

「教えよう 事の善し悪し 賢から」

第4条 感謝の心

「『ありがとう』は 生きゆく心の 出発点」

第5条 我慢する力

「肥後っ子の あすを支える がまん力」

第6条 命の大切さ

「自分の命 みんなの命 どれもが世界で1つだけ」

第7条 食事・団らん

「家族仲良く 食事・団らん 心と体に栄養を」

第8条 体験の意義

「体験で 得られる本物 知と心」

第9条 地域全体で子育て

「この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝」



～集団宿泊教室：5年生～



熊本県の小学校では、多くの学校が5年時に集団宿泊教室を実施しています。不知火小学校でも、11月9日、10日の1泊2日で、豊野少年自然の家での集団宿泊教室を実施しました。

集団宿泊教室は、「美しい自然や雄大な自然に触れる」こともそうですが、「仲間とともに、協力して困難を乗り越えていく」ことに、醍醐味と教育的な意義があるよう思います。ミッションをやり遂げたときの「達成感」「感動」。仲間と体験を共有し、協力する中で感じる「所属感」や「連帯感」。家庭や学校の中だけでは、なかなか実感できない貴重な体験になったことだと思います。

（※ 集団宿泊の様子は、学校ホームページ「学校生活」でご覧いただけます。）

